

2020年1月20日

No. 619

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
社団法人 電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤純一
印刷所 (株) 第一印刷



新年のごあいさつ

公益社団法人福島県畜産振興協会
福島県畜産関係団体連絡協議会
会長 宗像 実



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は業務推進について、格段のご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年は、台風19号や豪雨など、災害が多かった年でもありました。これらにより、多くの方が被災されたほか、家畜や農畜産業関連施設にも多大な被害が発生しました。被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

本県は東日本大震災からの復興・再生の途上であり、これ以上の悲劇が起こらないことを願うとともに、未来へ向けて脆弱化した生産基盤等の再構築を図り、夢と希望を抱いて安心して経営の継続できる環境を整備し、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していく必要があります。

また、県及び生産者団体による畜産物の検査等で安全性を確保しているにもかかわらず、消費者等にその取組みが十分に伝わらず、適正な価格で流通されない状況が今もなお続いています。今後とも、消費者のみならず流通・小売り業者等に対し一層の周知を図るなど風評払拭に努めなければなりません。

今年は東京オリンピック・パラリンピックの年です。畜産では、乳牛のオリンピックに例えられる全日本ホルスタイン共進会が宮崎県で開催されます。本県からも県大会を勝ち抜いた県を代表する乳牛が多数出場しますので大会での活躍はもとより、全国畜産関係者と交流し本県の畜産を大いにPRできることを期待しております。

一方、国際関係については、TPP11、日EU経済連携協定、日米貿易協定と次々に発効され、これら自由貿易

体制による農畜産物の輸入拡大は、今後ますます様々な面で大きな影響がでると懸念されることからいつでも最善の対応ができるよう万全の準備をする必要があります。

このため、畜産クラスター事業や畜産ICT事業・楽酪GO事業の一層の推進により生産基盤を強化するとともに、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）・肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）について補てん率の引き上げおよび豚マルキンの国庫負担割合の引き上げ、さらには肉用子牛保証基準価格の見直しといった対策が講じられているところであり、当協会といたしましても上記各種事業を適切に執行することにより、経営体質強化や経営安定に向けて、関係機関・団体と協力しながら取り組んでまいります。

また、家畜衛生関係では、CSF（豚コレラ）さらにはCSF以上に恐れられているASF（アフリカ豚コレラ）の侵入防止対策に取り組むとともに地域自衛防疫取組促進対策事業の一層の推進をはじめとした飼養衛生管理の強化に向け、関係者の皆さまとともに全力を尽くしてまいります。

さらには本県畜産業を守り、発展させるため、国等に対して万全の対策を講じるよう関係機関・団体と一体となり、引き続き強く求めていくとともに、経営安定対策、家畜衛生対策、価格安定対策及び家畜改良事業等が円滑に実施できるよう尽力して参ります。

本年も皆様のご期待に応えられるよう役員一丸となって努力する所存でありますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本県畜産の益々の発展と皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。



新年の御挨拶



福島県農林水産部長
松崎 浩司

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年10月に発生した台風第19号は、東日本の広範囲で河川の氾濫等を招き、本県畜産にも多大な被害をもたらしました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

皆様には、日頃、本県の畜産振興に特段の御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災の発生から9度目となる新年を迎えました。この間、本県では、農業の復旧と復興へ向けた動きが進展しており、畜産業においては、復興牧場やモデル畜舎、預託畜舎等の整備・稼働などに加え、牛や原乳の出荷制限解除、避難指示が解除された地域での営農再開など、復興に向けて着実な歩みを進めております。

また、昨年は、第60回福島県農業賞（農業十傑）において、畜産では3組もの経営体が表彰されるなど、県内各地で活躍される畜産を営む方々に注目が集まり、評価された年でもありました。

一方で、東日本大震災が本県畜産の生産基盤に与えた影響は大きく、担い手不足に加え原子力災害の影響から家畜の飼養戸数や生産量は減少が続いています。また、世界的な情勢を見ますと、昨年度のTPP11や日EU・EPAの発効、本年1月1日の日米貿易協定の発効など、日本の農林水産業は、新たな国際環境に入り、畜産農家や生産団体等の間では不安と懸念が根強くあります。さらに、本県の農畜産物は、依然として震災前の価格水準まで回復しておらず、特に肉用牛の食肉市場における枝肉価格は、全国平均よりも低い状況が続いています。

県としましては、原子力災害からの復興・創生をさらに加速し、進化させるため、避難指示解除区域においては、福島県原子力被災12市町村農業者支援事業などを活用し、畜産が盛んであった阿武隈山系を中心とした営農再開をしっかりと支援してまいります。

国では、昨年12月に改訂された「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づき、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）などによる体質強化、そして、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）や肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）による経営の安定を図るなどとしており、これらの事業を活用しながら、国際的な経済連携協定の進展にも十分対応できるよう生産基盤

の維持・強化にしっかり取り組みます。

風評対策については、畜産物のモニタリングにより引き続き安全・安心を確保するとともに、農場HACCPや畜産GAP認証取得を推進し、食肉販売店や消費者に信頼される産地づくりを推進するほか、より多くの方に福島牛を始めとした県産畜産物を召し上がっていただけるよう、高い品質とおいしさを積極的にアピールしながら、関係者が一丸となって風評の払拭と県内外における販路の拡大をさらに図ってまいります。

なお、CSF（豚コレラ）や鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病は、発生防止対策や万一発生した場合の初動防疫が大変重要になることから、万全の体制整備を図っているところです。特に、CSFは、平成30年9月に発生してから令和2年1月15日まで1府9県まで拡大しており、ワクチン接種推奨地域は隣県まで指定されております。県では、CSF発生防止に向けて、国内CSFの感染拡大の大きな要因となっている野生イノシシの豚舎への侵入を防止するため、防護柵等の設置費用に対し、独立行政法人農畜産業振興機構事業と併せて4分の3を補助する豚コレラ侵入防止緊急対策事業を12月補正で予算化したところです。

今後とも皆様安心して畜産経営を継続できるように様々な施策を講じてまいりますので、皆様には事業を活用しながら、自らの畜産の生産基盤の強化と経営の発展を進めてくださいますようお願いいたします。また、関係機関・団体の皆様方には、各種施策の推進や実施について、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、本県畜産業の振興に向け、一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



家畜共済疾病傷害共済の 「診療費1割自己負担」が開始されました

福島県農業共済組合

家畜共済新制度が始まり1年が経過したところですが、令和2年1月1日から疾病傷害共済の取扱いに一部変更がありましたのでお知らせします。

令和元年12月31日までに共済掛金期間が開始した疾病傷害共済は、今まで同様「初診料」を負担していただくこととなりますが、令和2年1月1日以降に共済掛金期間が開始する疾病傷害共済は、初診料がなくなり診療費の1割を組合員が負担することになりました。

新たに初診料が点数化され技術料と薬価に加算されて「診療費」が決定します。この「診療費」の1割を組合員に自己負担していただくこととなります。家畜に異変を感

じた場合は、早めに獣医師に相談し早期治療に努めて自己負担額を減らしましょう。

また、共済組合（NOSA I）は組合員の自己負担分を差し引いた金額を共済金として、代理受領委任状を提出した指定獣医師、診療センター獣医師、嘱託獣医師、組合員に直接支払います。支払限度額を超えた部分についてはお支払いできませんので、今まで同様、限度額を超えた診療費については組合員が獣医師へ直接お支払いください。

組合員に負担いただく診療費の1割については、支払共済金が確定後に家畜共済病傷事故支払通知書にてお知らせいたします。

例1) 令和元年12月31日までの引受け

初診料の負担が引き続き発生します。

治療内容	薬価	点数(除薬価)	
		B	A
往診 4 km	円	173 点	41 点
直腸検査		188	7
診断書		101	5

往診 km	円	点	点
計	0	462	53
点数合計		462	
診療費		4,620	
初診料		1,500	
給付額		4,620	

例1) の場合、組合員の負担は初診料の1,500円です。

例2) 令和2年1月1日以降の引受け

初診料の負担はありませんが、診療費の1割負担が発生します。

治療内容	薬価	点数(除薬価)	
		B	A
往診 4 km	円	173 点	41 点
初診		130	12
直腸検査		188	7
診断料		101	5

往診 km	円	点	点
計	0	592	65
点数合計		592	
診療費		5,920	
初診料			
給付額		5,328	

例2) の場合、組合員の負担は5,920円の1割である592円です。

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL: 0243-33-1101(代)

黒毛和種雌肥育牛への圧ぺん玄米代替給与技術

畜産研究所では、黒毛和種去勢牛を用いて配合飼料の代替として圧ぺん米粉や粉碎玄米、圧ぺん玄米を給与したところ、慣行肥育と遜色なかったという研究成果を挙げてきましたが、黒毛和種雌牛においても圧ぺん玄米を30%代替できることを確認しましたので、ご紹介いたします。

試験の方法ですが、表1のとおり供試牛は沼尻分場産雌産子10頭を用い、そのうち5頭については試験区として濃厚

福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場飼料の30%（重量比）を圧ぺん玄米で代替し、約3カ月齢から30カ月齢まで給与して出荷しました。残りの5頭は対照区として当場の慣行方法での肥育を行いました。

試験の結果ですが、図1のとおり体重の推移は慣行肥育と差がなく、枝肉成績についても表2のとおり良好な成績でした。また、飼料費については表3のとおり1頭あたり約52,000円削減できました。

表1 試験の方法

供試牛	沼尻分場産雌産子10頭
試験期間	約3カ月齢から30カ月齢
区の設定	
	濃厚飼料
試験区 (n=5)	圧ぺん玄米30%代替（重量比）
対照区 (n=5)	当场慣行肥育飼料

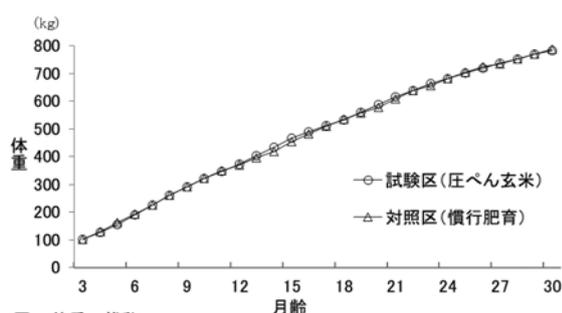


図1 体重の推移

表2 枝肉成績

	出荷月齢 (月)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	ハラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留 基準値	脂肪交雑 (BMSNo.)
試験区(圧ぺん玄米) (n=5)	30.6 ±0.5	521.4 ±25.7	77.4 ±8.4	9.3 ±0.8	2.4 ^a ±0.2	77.0 ±1.5	8.8 ±1.5
対照区(慣行肥育) (n=5)	30.6 ±0.3	514.8 ±67.7	72.6 ±10.2	8.8 ±0.9	2.8 ^b ±0.3	75.8 ±1.0	9.6 ±0.9

注1 平均値±標準偏差

注2 異符号間に有意差有り (p<0.05)

表3 1頭あたりの飼料費

	圧ぺん玄米肥育		慣行肥育	
	総摂取量	価格	総摂取量	価格
育成用配合飼料 ^{注1}	373	21,619	620	35,889
肥育用配合飼料 ^{注2}	3,601	220,010	5,357	327,291
圧ぺん玄米 ^{注3}	1,722	61,114	0	0
大豆粕 ^{注4}	178	16,172	89	8,028
合計	5,874	318,915	6,066	371,208
価格差		52,293		

注1 税込単価 57.9円/kg（農林水産省流通飼料価格等実態調査 平成30年9月）

注2 税込単価 61.1円/kg（農林水産省流通飼料価格等実態調査 平成30年9月）

注3 税込単価 35.5円/kg（内訳 玄米21.6円/kg、圧ぺん加工代13.9円/kg）

注4 税込単価 90.6円/kg

なお、本技術の実施に当たっては、圧ぺん玄米はタンパク質含量が低い点及びビタミンAを殆ど含んでいない点に注意が必要なることから、育成期と肥育前期には大豆粕等によりタ

ンパク質を充足するとともにビタミンA欠乏症に至らないよう飼養管理を行う必要があります。

牛乳価値向上事業料理講習会を開催しました

福島県酪女性部やまびこ会

去る12月11日(水) 県酪女性部やまびこ会(会長 福田祐子)は、牛乳価値向上事業として、森永乳業(株)東北支店が行っている事業の「M'S Kitchen」出張料理講習会を実施しながら、牛乳乳製品の知識を深め、消費者の皆様にお伝えする為の勉強会を行い、今後の活動の中で生かしていこうという目的で開催いたしました。

講師に管理栄養士 辻 匡子先生をお迎えし、「運動応援コース」の調理実習と「腸活と健康」についてご講演をいただきました。

調理実習では、辻先生も驚くほどの手際の良さで、1時間弱で3品を仕上げておりました。

今回、紹介していただいた牛乳乳製品の料理は、さば缶を使用したり、ヨーグルトを使用したサラダやデザートで子供から大人まで美味しくいただけるメニューでした。

講演会のテーマでもある「腸活と健康」について、様々な研究から健康のカギは大腸にあることがわかってきて、腸内の善玉菌は消化を助け病気の抵抗力をつけると言われ、悪玉菌は血管を通し様々な病気の原因にもなると言われています。腸内には善玉菌は2割、悪玉菌は1割、その他7割と言われていますが、現在は生活習慣の乱れから割合が逆転しているといえます。どのような食生活をすれば健康になれるの

か?そこでおススメなのがビフィズス菌が生きたまま腸まで届くヨーグルトです。ビフィズス菌は、整腸作用がある「乳酸」と、より強い殺菌作用がある「酢酸」を作りだし、悪玉菌を撃退します。ホットヨーグルトで食べる際には、菌は63℃で死滅してしまう為、温度に注意しながら温め、お好みで砂糖を加えたりして美味しくお召し上がりくださいとのことでした。

その他、料理を作る際のアイデアや腸活のお話を伺い、牛乳乳製品の知識が深まってきました。今後地域の方々に牛乳乳製品が健康維持の為にどのような役割・効果があるのか等をPRしていきたいと思いました。



福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おこころ
はげはみじみいかが!

肉用牛肥育経営安定交付金制度
(牛マルキン制度) 発動状況

(単位：円)

販売月		肉専用種 (福島県)	交雑種 (全国)	乳用種 (全国)
令和元年10月	暫定交付金単価	26,045.1	15,271.2	48,722.4
	概算払い単価	22,045.1	11,271.2	44,722.4
	精算払い単価	公表前	公表前	公表前
令和元年11月	暫定交付金単価	—	356.4	53,726.4
	概算払い単価	—	—	49,726.4
	精算払い単価	—	公表前	公表前
令和元年12月	確定単価 ※2月上旬公表予定		—	



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
URL : www.zenoaq.jp

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用 各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)36312488

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎(024)55316678

日本全薬工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上1-1
☎(024)9451306

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五-1
☎(024)5267303

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五-1
☎(024)5771312

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎(024)6312488

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう」

●品質と信頼の●




JA全農北日本くみあい飼料株式会社

くみあい配合飼料

本 社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店
〒963-0725 福島営業所
郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

令和2年度 福島県家畜市場総合カレンダー

年	日曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
4	日曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
	日曜日																																
5	日曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	日曜日																																
6	日曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	日曜日																																
7	日曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
	日曜日																																
8	日曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	日曜日																																
9	日曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	日曜日																																
10	日曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	日曜日																																
11	日曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	日曜日																																
12	日曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	日曜日																																
1	日曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	日曜日																																
2	日曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	日曜日																																
3	日曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	日曜日																																

※[全農福島]：JA全農福島 開催日 [酪協]：福島県酪農協 開催日

家 畜 市 場 名	市場開設団体	電話番号【FAX】	取引家畜
福島県家畜市場(本宮市) 0243-39-2636 【FAX】39-2690 (市場は開設日のみ)	JA全農福島(家畜市場課)	【TEL】024-983-0570 【FAX】024-956-0420	和牛子牛・成牛・乳子牛
	福島県酪農業協同組合(購買畜産課)	【TEL】0243-33-6981 【FAX】0243-33-6983	毎 月：肉用乳子牛 6・9・12・3月：妊娠牛・搾乳用雌子牛も併設
	(管理団体) 公益社団法人福島県畜産振興協会(業務課)	【TEL】024-573-0513 【FAX】024-573-0565	

※ 御購買・輸送等は開設又は上場組合にご相談ください。

全国農業協同組合連合会 福島県本部 福島県酪農業協同組合 公益社団法人 福島県畜産振興協会

家畜取引状況報告

令和元年11~12月和牛子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数(頭)	取引価格(円)			平均体重(kg)	平均単価(円/kg)	平均日齢(日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
11	雌	323	1,376,100	209,000	710,001	287	2,470	289	147	176
	雄									
	去勢	409	1,324,400	445,500	786,825	316	2,493	285	216	193
	計	732	1,376,100	209,000	752,926	303	2,483	287	363	369
12	雌	365	1,333,200	281,600	702,318	279	2,519	280	157	208
	雄									
	去勢	499	1,323,300	456,500	770,752	305	2,528	274	253	246
	計	864	1,333,200	281,600	741,842	294	2,524	276	410	454

令和元年11~12月乳子牛市場成績 (県家畜市場)

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数(頭)	取引価格(円)		
			最高	最低	平均
11月 第289回	ホル雄	55	171,600	1,100	118,740
	ホルフリー	2	47,300	1,100	24,200
	F1雌	54	300,300	33,000	229,819
	F1雄	66	345,400	165,000	274,067
	和牛雌	2	482,900	179,300	331,100
	和牛雄	9	686,400	440,000	551,950
	和牛去勢	0			
	計・平均	188	686,400	1,100	227,168
12月 第290回	ホル雄	64	173,800	14,300	106,855
	ホルフリー	2	38,500	15,400	26,950
	F1雌	88	301,400	86,900	240,913
	F1雄	90	386,100	119,900	288,457
	和牛雌	2	468,600	459,800	464,200
	和牛雄	17	612,700	434,500	537,771
	和牛去勢	0			
	計・平均	263	612,700	14,300	243,819

令和元年11~12月乳子牛市場成績 (県家畜市場)

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数(頭)	取引価格(円)			平均単価(円/kg)	平均体重(kg)
			最高	最低	平均		
11	乳登	1	223,300	223,300	223,300	2,189	102
	妊娠牛	4	631,400	154,000	429,550		
	E T 和雌	3	614,900	409,200	492,434	5,432	91
	E T 和雄	4	688,600	394,900	539,825	5,609	96
	乳雌牛						
	乳雄牛	25	157,300	1,100	99,528	1,438	69
	乳去勢子						
	F1雌(育成)						
	F1去(育成)						
	F1雌(スモール)	45	309,100	52,800	243,246	3,243	75
	F1雄(スモール)	50	380,600	194,700	312,290	4,039	77
	計・平均	132	688,600	1,100	262,325	3,559	74
	12	乳登					
妊娠牛							
E T 和雌		4	477,400	432,300	456,500	4,895	93
E T 和雄		6	636,900	470,800	560,084	5,573	101
乳雌牛		1	46,200	46,200	46,200	783	59
乳雄牛		19	123,200	13,200	70,574	1,073	66
乳去勢子							
F1雌(育成)							
F1去(育成)							
F1雌(スモール)		57	251,900	42,900	192,925	2,796	69
F1雄(スモール)		53	312,400	33,000	239,987	3,317	72
計・平均		140	636,900	13,200	216,355	3,013	72

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

上段「ニュートラック福島」(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040
下段「オープス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

(2月)

日曜	1土	2④	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9④	10月	11④	12水	13木	14金	15土	16④	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23④	24④	25火	26水	27木	28金	29土
ニュートラック福島					大井	笠松					船橋	名古屋								浦和	笠松						大井	名古屋	
オープス磐梯					大井						船橋									浦和							大井		

(3月)

日曜	1④	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8④	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15④	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22④	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29④	30月	31火
ニュートラック福島					川崎	笠松					船橋	名古屋		佐賀						大井	笠松	佐賀									船橋
オープス磐梯					川崎						船橋									浦和											船橋



※ 発売日程は、変更になることがあります。
地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会